

ふれあい

2025

1

No.454

牛久愛和総合病院 広報誌



新年のご挨拶

院長 瀬下 明良



2025年が始まりましたが、皆様はいかがお過ごしですか。今年はどうのような1年になるでしょうか。年始めは、

気持ちも元気で、前向きな意欲が一番高くなりますが、まずは昨年を振り返り、新年度への繋がりを考えてみます。数年間にわたり関心の中心であった新型コロナウイルス感染症は、2024年も8月までに3回の中等度の波があり、感染者は昨年末にまた増えてきています。2023年5月に感染法上の分類がインフルエンザと同じ5類に変更になり、社会的な制限は無くなり、

一般的な制限は無くなり、一般生活はもとに戻ってきています。医療環境ではまだまだ対策が必要です。コロナに限らず、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎、新興感染症の発生など考えますと、手洗いやマスクなど感染対策

は今後とも医療だけでなく生活の場でも標準的に継続するのが推奨されています。このコロナ禍のなかであらためて感じるのは、オンライン参加による学会やセミナー、仕事の効率の良さと、その反面で顔の見える関係や現地参加で得られる情報の多さではないでしょうか。

医療も同じで、安全・安心・寄り添うといっても、向き合うことから始まるのだと思います。

様々なサービスの充実に逆行する気もしますが、やはり必要な働き方改革も大きな影響をもたらしました。4月から建設事業、自動車運転業務、医師、鹿児島・沖縄県の砂糖製造業にも適用され、勤務時間の上限などが制限されるようになり、医療では茨城県のような医師不足地域では日常診療、救急医療にもとくに影響しています。すべての医療スタッフの働き方も同様です。このため厚労省も、タスク・シフトとして業務を他職種と分担することや、ま

た病院とクリニックの役割分担を行い、各スタッフが余裕を持つて患者さんに向き合えるように推進しています。まだ十分ではなく、医療スタッフも患者さんも一緒に協力していくことが大事だと思います。また12月から茨城県では、緊急性のない救急搬送に選定療養費が徴収されるようになりました。最初の1週間では、徴収率が5・8%で救急搬送件数が15%減少し、電話相談が増えたようです。県や医療機関からの事前の説明等により、県民のご協力をえて救急医療の逼迫が軽減され、より適切に救急対応できるようになりそうです。

医療の基本は人間関係です。一方通行では成り立ちません。十分な情報交換をお互いに行うために、医療分野でもDX・デジタルトランスフォーメーションが導入されつつあります。今年の抱負としてDXに強く取組んでいき、より十分な医療を提供できるようにめざしますので、よろしく申し上げます。

施設のご紹介

スポーツリラックス

当院A館7階の健康増進施設「スポーツリラックス」では、医学的観点から生活習慣病の予防や腰痛・膝痛の改善など目的に合わせた運動プログラムを提供しております。施設の運営は、常勤スタッフ4名、受付スタッフ1名、スタジオインストラクター15名で行っています。

*施設の特徴

① 医療費控除対象施設

当施設は、健康増進施設のうち、「厚生労働省が運動療法を行うのに適した施設」として認定を受けている指定運動療法施設です。この認定を受けている施設では医師により、運動処方せん（紹介状）を発行された方が施設を利用された場合、施設の利用料を医療費控除の対象とすることができます。

② 病院併設運動施設

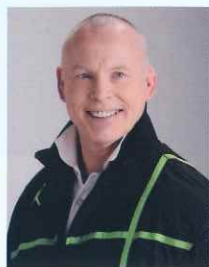
当施設は病院併設となり、医学的検査の面から身体をチェックし、運動と掛け合わせてよりよい健康づくりをしていきます。また、安心・安全に運動を行えるよう、一人ひとりに合わせた運動指導を致します。

③ 最高顧問による指導

最高顧問であるチャック・ウィルソン氏には月2回運動指導や健康相談を行い、会員様の健康サポートをいただいております。

④ 豊富な運動プログラム

週35本のスタジオレッスンやマシントレーニング、定期的な体力測定などで運動が初めての方でも行える運動プログラムをご提案いたします。



*一日無料体験のご案内

まずは気軽に試してみたいという方におすすめなのが、一日無料体験です。実際に施設をご利用いただくことで、施設の雰囲気や施設での運動を体感することが出来ます。体験中は、スタッフがサポート致しますので、運動するのが初めての方や運動が苦手な方でも安心して行えます。

*お試しコース

身体がなまってしまった方、運動を始めようとご検討されている方がかたがたでしょうか。

一ヶ月 5500円（税込）

※ドクターからの紹介状持参で500円引きでご利用いただけます。

*施設の雰囲気

施設内はとてもアットホームな雰囲気です、会員様からは「こは施設名の通り、リラックスできる場所だね」というお言葉を多く頂いております。「それぞれの目的や目標の達成を目指しながら、時にひと息できる施設」として、これからも予防医療の観点から皆様の健康をスタッフ一同、全力でサポート致します。

*ご予約（お問合せ）

【電話番号】

029-874-8791（直通）

【予約可能時間】

平日（月～金） 9時～20時
土曜・祝日 10時～17時
施設見学はご予約不要で承りますのでお気軽にご来館ください。



入職者

12月18日付

■春秋園

■ケアサービス部

介護職員 バッタジャナキ
わたしのなまえはバッタジャナキです。わたしのしゅみはよりよいをつくることです。にほんのすきなことは、にほりよりりです。

12月19日付

■看護部

■看護助手グエンテイチュオン

患者様の困っている事を理解し、献身的にサポートできるように日々精一杯努力していきます。

■看護助手グエンテイトウハ

日本語とせんもんちしきを学び、かんじやさんによりよくサポートできるよう努力していきます。



春秋園だより

2025年 年賀

あけましておめでとう御座います。春秋園ご利用の皆様、そしてそのご家族の皆様と共に我々職員一同、新しい年、巳年を迎えることができましたこと本当に喜ばしく思います。

Covid-19が5類に分類されてから1年以上が経過し、春秋園の人の流れにも、コロナ前の様子が戻りつつあります。面会が毎週となり、時間にも少しゆとりを持たせることができようになりました。通所リハビリテーションでは、ボランティアの方々のギター演奏会や踊りなどを通じて、地域との交流も再開されるようになりました。そして数年ぶりの牛久っば祭りでは、職員が参加、かっぱ踊りで市内を練り歩きました。が、油断は禁物、春秋園には95歳以上の20名を含め、高齢の方々、介護が必要な方々が多数入所されています。昨年末にインフルエンザとコロナにたいす

る予防接種とワクチン接種を行いました。補助が少なくなった状況でも多くの方々が接種を希望されたのは、世の中の感染症に対する意識の高さを示していると思われまします。いまま少し、関係者全員でこの意識レベルを維持して行きたいと考えております。

それに、もう一つ戻りつつあるのは、看護、介護を学ぶ10〜20歳代の学生さんの春秋園での研修です。今の若い方々が普段の生活で90歳代の高齢者と遭遇することはまれになっていきます。互いに接する交流の場ともなり、その期間キラキラとした目が光り、春秋園内滞在者の平均年齢が若くなります!!

これからも、地域における介護とリハビリテーション、そして人的交流の場として、春秋園は介護老人保健施設としての役割を、職員一同力を合わせて行っていく所存です。

皆様、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(施設長 高橋 元)

部署紹介

情報システム管理室

係長 皆葉 俊一

当院の情報システム管理室は、3名体制で情報技術（IT）を担当し、効率的で安全な業務運営を支える重要な部署です。主な役割は、医療現場で使用される電子カルテや画像診断システム（PACS）、その他部門システムなどのITインフラ維持管理と運用管理です。情報システムが正常に稼働することで、医療従事者は迅速かつ正確な診療を提供できるようになります。

また、情報システム管理室は、セキュリティ対策にも重要な役割を果たします。個人情報や医療データは非常にセンシティブなため、外部からのサイバー攻撃や内部でのデータ漏洩を防ぐためのシステム監視や、アクセス管理を厳格に行っています。さらに、定期的なバックアップや障害発生時の迅速な対応も求められます。

加えて、新たな医療技術の導入やシステムのアップグレード、改善提案なども担当し、医療機関のIT環境を常に最適化することが求められます。医療現場のニーズを理解し、医師や看護師、事務職員との連携を密にしながら、情報システムが医療の質向上に貢献できるよう尽力しています。

Dr趣味リレー

研修医 一色 紗茜

私はとにかく海が大好きで、海をただ眺める時間が心のリフレッシュになります。広い海を見ると、日々の忙しさを忘れることができ、心が落ち着きます。波の音や風が気持ちよく、何も考えずにその景色を楽しむことで思考を整理することもできます。

さらに海辺をドライブすることも私の楽しみの一つです。海沿いの道を車で走ると、目の前に広がる景色がとても美しく、特に夕暮れ時や早朝の海辺の風景は格別です。車のエンジン音を聞きながら、潮の匂いや風を感じることで、普段の生活では味わえない爽やかさを感じることが出来ます。

いつかはきれいな海のそばにある病院で働き、海のようにおらかで何でも受け入れられる人間・医師になりたいと思っています。患者さんのさまざまな状況に対して柔軟で、心の広い対応ができるよう、日々精進し続けたいと思います。

《出来事ピックアップ》

クリスマス会

12/8

12月8日(日)クリスマス会を保育園で行いました。



キャンドルサービスの後、劇「ぐりとぐら」です。毎日一緒に劇遊びをしていた未満児もりす役で参加し、可愛い姿を見せてくれました。ぐりとぐらも元氣一杯。クリスマスパーティーの準備をして、年中児の可愛いうさぎさんを招いて乾杯しました。劇が終わると外から鈴の音が聞こえて来ました。カーテンを開けるとサンタさんが、「わあー」と全員から歓声が上がりました。年長児からの手紙を読み、



地図を頼りに来たとの事。手紙を書いた年長児は、サンタさんからハグしてもらい、とてもうれしそうでした。それからプレゼントをもらい、一緒に踊って楽しい時間を過ごしました。(保育課係長 榊原)

編集だより

新しい年となりました。毎年お正月になると、その年の目標を立てるようにしています。いつも思い通りにはなりません、ひとつの「区切り」として大事なことだと考えています。よい年でありますように。(T・S)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

【専門外来】

内科(禁煙外来)
整形外科(股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小児科(小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮膚科(レーザー外来)
外科(下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査(乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ http://www.jojinkai.com

《関連施設》

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
人工透析センター
読影センター
地域リハ・ステーション
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

